

第42回 三ツ峠山

第4支部 丁子屋塗料（株）
秦 明彦
平成21年7月26日（日）快晴

三ツ峠山は、以前、まだ翁会二世会が存在していた時、当二世会主催で富士山登山を実行したのを記憶している方もいらっしゃると思いますが、その富士山に登る練習に、三ツ峠山に登っていたので、今回のコースは、比較的楽なコースだと認識していました。しかし、このところ音楽はともかく囲碁を本格的に始めてしまって、目に余る運動不足になってしまい、当日が近付くにつれ、不安になってきました。

そこで、20日（月）の海の日に、昨年忘年ハイキングのコースだった草戸山ヘトレニングに行ってきました。

これで、ちょっと安心しましたが、今度は天候が心配になってきました。戻り梅雨のようで、1年前の武川岳が頭をよぎりましたが、当日は見事晴れ、しかも関東地方のみ晴れという大変ラッキーな山行となりました。

さて、当日、7時31分高尾着で下車すると、乾さん、磯部さん、小川さん、事務局山本さんに次々出会い、直通河口湖行きへ乗車、大月の手前で、話題となった岩殿山を眺めているうちに、富士急行線へと入りました。富士山がよく眺められ、これから登る三ツ峠山もよく見え、そうしているうちに終点の河口湖駅へ到着しました。

駅前のバス停で、原さん夫婦が待っていました。原さんの奥様のみハイキングに参加で、御主人は、お見送りで下山後の八王子での宴会に参加の予定との事です。

以上、計6名でバスに乗り込みました。河口湖を左に眺めながら、河口湖大橋で三ツ峠方向へ進み、やがて三ツ峠登山口で下車、いよいよ登山開始です。

三ツ峠登山口から、まず林道を歩くと間もなく登山道に入り、一度木無山（三ツ峠山の一角）の肩のような所で一休憩し、その後、木無山を経て、比較的短時間で、三ツ峠山へ到着しました。

ちょっとペースが速いかな、と思いつつ、少し遅れながら登りましたが、山本さんは張り切りすぎて、ちょっと苦しそうでした。

富士山は、残念ながら頂上付近に雲がかかり、完全な姿を眺められませんでした。湖は、山中湖、河口湖、西湖が、よく見えたと記憶しています。それにして

も、頂上付近は、風が強く繁みの中の空スペースで、昼食休憩というか、軽い宴会となりました。これが、まず、第1回目の宴会で、小川さんの運んできたウイスキーと、磯部さんのあたたかい紅茶をいただきました。

休憩後、下山は、木無山との鞍部にある、三ツ峠駅方面への道を取り、少し下ると、ロッククライミングのゲレンデに出ました。多くのクライマーが岩壁を登降していました。

ここからは、長く石の浮いたいやな道をかなり下ると、訳のわからない文字の彫ってあるダルマ石に出て、はっきり憶えていないが、このあたりから、車道となりほっとした次第です。毎回、私は、下山に苦勞していますが、他の参加者は何ともなく下山しているのが不思議で、股の筋肉が弱いだけではないと思うのですが、一応、乾さんの言うスクワットをしないとだめようです。

さて、車道をしばらく進むと、三ツ峠駅の少し手前にあるグリーンセンターへ到着、予定通り、お風呂に入り、さっぱりとしました。休憩所で簡単な2回目の宴会？をして、ほどなく三ツ峠駅へ到着しました。

先に着いた乾さんが買い出しして来てくれて、電車の中で3次会となりました。八王子で下車、若林さん、原さん御主人と合流し、若林さん案内のお店(名前は憶えていない)へ行き、とうとう4次会に突入しました。この店では鮪の解体ショーが行なわれ、いくらかの鮪を食したのを憶えています。

余談になりますが、新宿に到着後、腹が減ったので、もう少し寿司が食べたくなり行付の寿司屋へ行き、今日のハイキングの報告をし、一人だけの5次会を行ないました。

最後に、今回のハイキングは、7月5日出演の馬場管演奏会の後になるように幹事の乾さんに計画してもらい、参加なったことを感謝します。